

# JCPN ニュースレター



2020年 春号

## 2020年 小さな一歩から始めよう

つい先日のこと。私の日々の生活に欠かせないはずのプランナー（計画帳）をどこかに置き忘れた。困ったが思い出せない。方々を探し回ったが見つからない。ついに、主の前にひざまずき、「助けてください」と祈った。1時間も立たないうちに、私の携帯のメールに、ミチ牧師から伝言が入ってきた。「今日（月曜日）、用事で教会にちょこっと立ち寄ったら、父さんのプランナーを見つけたので、夕方届けますね」と。祈りは必ず、主が聞いておられ、愛するものに答えてくださる。という小さな体験も大切にしたい。

2003年、JCPNが生まれた時、「2020年に向けて、倍々教会を」とのビジョンが掲げられた。北米各地に120の日本語教会を建てる、という倍々計画の目標達成予定の年だ。まだ16教会にとどまっている。これから更に大きく躍進したい。大きなビジョンも大切だが、実践は小さな一歩から始まる。3年の祈りが主に聞かれて、馬越牧師ご一家が先日、Detroit, Michiganの地に立った。ご一家だけからの新教会開拓にとりかかる。とっても小さな一歩だ。しかし、今まで祈ってきたことは皆かなえられた。この地から将来、世界にはばたく多くの新しいリーダーたちが巣立ってゆくに違いない。

2020. 3 横井マイク



「わたしを呼べ。そうすれば、  
わたしは、あなたに答え、  
あなたの知らない、  
理解を越えた大いなる事を、  
あなたに告げよう。」

エレミヤ書 33:3

2019年12月29日 横井ケンジ牧師

証

バスケットボールのゴール

J I B C

教会の増築プロジェクトの一部として、約225kgのバスケットボールのゴールが教会の新体育館に設置されていました。昨年末のJIBCの教会大掃除の時に私がゴールの下の床を拭いている時に、そのゴールが私の上に倒れてきました。225kgの重量が私の背中と頭を直撃し、私の顔は床に叩きつけられました。私は5秒ほど気を失い、気がついた時には前歯が4本折れ、口の中が歪んでいました。立ち上がると、口と鼻から血が床にしたり、その光景に周りの人たちが泣き叫ぶのが聞こえました。

多くの教会の人たちがすぐに祈り始めました。救急車が呼ばれ、救急隊員が私の容態を見にきました。多くの人が私を心配して部屋を埋め尽くしていました。私は近くの病院の救急病棟に運ばれ、そこであらゆる検査がなされました。CTスキャンで脳の出血も調べましたが、お医者さんは私が生きていくことも去ることながら、脳の出血すらも見られない事に驚いていました。あまりの衝撃の強さで私は床に叩きつけられ、気を失いましたが、それでも命が守られました。お医者さんが私の歯を調べると、4本はかなりひどく折れており、一つの歯を動かすと他の3本と一緒に動く事から、歯だけではなく、骨が折れている事が明らかでした。私が教会の人たちにこの事を伝えると、彼らは具体的に神様が前歯をもう一度くっつけて癒してくださる様祈り始めました。お医者さんから歯医者に行く様に言われ、私は翌日歯医者に行きました。私が生きていく事だけでも素晴らしい神様の恵みの現れでしたが、翌日神様の愛と力は更にはっきりとしてきました。歯医者さんが診察を始めると、私の前歯はしっかりくっついていました！まだ痛く、歯がゆらゆら動きましたが、何本も一緒に動く事はありませんでした。レントゲンを撮ってみると、驚くべき事に歯医者さんは特に異常は見られないと言いました。歯はもちろん折れていましたが、神様は骨を治して、くっつけてくださったんです。私の心は言葉にできない感謝でいっぱいでした。

神様は私の命を守り、前歯の骨を治してくださいましたが、それでも回復には時間が必要でした。それから2週間、私は自宅で療養しました。その間、教会の方々の愛とケアと祈りは絶大でした。その間、私はバスケットボールのゴールが倒れてきたのは他の人ではなく、特に子供たちではなく、私であった事を感謝しました。

1月9日、私は神様が語りかけてくださっている様に感じ、この事を書き留めました。

「今日は1月9日。私が命を落としそうになったあの事件から10日が経った。今日、運転している時に、これまでに考えたこともなかった何かを神様が語ってくださっている様に感じた。神様は私にこう語られた。『ケンジ、あなたは今日死ぬはずだった。でも私はあなたを助け出した。』この言葉に私は喜びの涙を流しました。パウロが言った様に、『私はキリストと共に死に、もはや私が生きていくのではなく、キリストが私のうちに生きておられます。今、私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自信をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。』私の人生はあの日に終わりました。私は私を助け出してくださいと言う主のご計画のおかげで今日ここに生かされています。人生が10日前に終わるはずだった事を思うと、これから起こることは全てボーナスです。神様が私を助け出してくださいだったので、これからはより神様のために生きるつもりです。神様に向かって、そして神様のために生きるために、それを妨げる物は全て捨てる事を誓います。

バスケットボールのゴールが私に倒れてきた事は、私の人生で起こった最高の出来事です。この事は、自分が罪に死に、キリストにあって生かされている事を思い出させてくれました。私たち皆そうなのです！私たちは皆、新しく造られた者です！古いものは過ぎ去って、全てが新しくなりました！私とその事を思い出すために225kgのバスケットボールのゴールが必要だったんですね。

ある人たちには神様は燃える柴から語られます。ある人たちには大きな魚のお腹の中で語られます。私には神様はバスケットボールのゴールを通して語られました。私はまだ回復途上にありますが、その中で私をバスケットボールのゴールからだけではなく、罪と死から救い出してくださいました神様をほめたたえます。

# ピッツバーグ国際日本語教会 土橋稔史 牧師

## 「7年目初めてのバプテスマ」

私たちは2012年の12月からピッツバーグで開拓伝道を開始しました。そして、2019年11月2日に3人の女性のバプテスマを実施しました。7年目で初めてのバプテスマでした。「7年目はじめてのバプテスマ」というタイトルから長年の苦労が実ったという内容を期待すると思いますが、「苦労が実った」という表現があてはまるのは妻だけであり、私は期待すると実現できないときの落ち込みが大きいこともあり、最近あまり教会のことを考えないようにつとめていました。

今回のバプテスマについても同じであり苦労していたのは妻だけでした。2019年の10月に横井先生ご夫婦がJCPNの各教会を訪問しましたが、ピッツバーグもその一つとして含まれていました。私は「横井先生ご夫婦が来るのだから久しぶりにうまいものを一緒に食べよう」としか考えていませんでした。しかし妻はせっかくの機会だから伝道に活かしたいと考えており、横井先生が来ている間に自宅に求道者の女性2人を招いて聖書研究会をすることを計画していました。そして、妻の期待に横井先生がこたえてくれて、見事に2人の女性を信仰告白に導いていただき、とんとん拍子にバプテスマの日が決まりました。



この女性2人にアメリカの教会での英語でのバプテスマにとまどっていたもう一人の女性を加え、2019年11月2日にバプテスマを行いました。

ホスト教会も無牧の状態で洗礼のやり方を教えてもらう人が誰もいなかったの  
で、You Tube で何度も見て無事終えることができました。

私たちの教会は非常に特殊であり、毎週の礼拝に出席している方はすべてアメリカの教会に属しています。だから、コミットメントをまったく求めない教会です。これは教会形成として正しくないことかもしれませんが、「そうしないとピッツバーグで福音を伝え続けることは不可能である」と判断して苦渋の決断しました。今回の洗礼を受けた三人の内二人もアメリカの教会に毎週出席しており、もう一人は5月に日本に帰国するので、今回の三人のバプテスマが教会成長につながる訳ではありません。

しかし、私たちにとっては大きな意味がありました。それは私がバプテスマを受けた女性の一人に祈りの課題はないかと尋ねたときに気づきました。彼女は「自分たちのことばかり祈ってもらうと神様に申し訳ない」と素直に答えたのです。私たちの教会は『土曜礼拝、コミットメント求めない、弟子訓練をしない』という軟弱な教会ですが、唯一しつこく私は『神様中心に生きる』ことを言い続けています。彼女の言葉から神様を中心に生きていこうとする思いがあふれ出ていたのです。私は今回のバプテスマは、神様は私たちの変則な教会形成を承認する意味で与えてくれた褒美だと理解しています。これからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。





# 「主の教会を承継する」

## 八十 努 牧師

今年からアリゾナ州フェニックス地区にある JIBC の牧師に就任しました八十です。

私はアメリカの神学校を卒業する前に、JCPN 主事の横井牧師と北米各地をめぐりながら、どこに遣わされるのかと主に聞きました。すると何度も繰り返し、ポートランドに「とどまれ」と示されました。それから23年。すっかりポートランドに根を張っていた私に昨春、主は「行け」とおっしゃられたのです。

事の始まりは、フェニックスの佐々木牧師から「祈ってくれませんか？」と電話があった事です。私はフェニックスの教会で何度か奉仕をさせて頂きましたし、後継者を探している事は周知の事でしたので、私にも声がかかることは予想されました。しかし私は「留まれ」と召された身だったので、自分ではないと思っていたのです。



祈り始めると、すぐにヨシュア記 1:9「わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」という中の「行く」という言葉に目がとまりました。今まで「留まれ」と語られた主が「行け」と言われる。その時置かれた環境を見ると、家内のユースミニストリーの奉仕が一段落し、次にどのような奉仕をするか主に求めていたところでした。しかし引越しをする事は「想定外」でした。

50歳台といえば、大抵の社会人なら今まで築いてきた人生の収穫期に入る時期。それなのに私は新しい場所でフリダシに戻らなければならない…。牧師として駆け出しの頃は、収入がなく苦労した時期もありました。しかし今や教会も200名近くになり、ある程度安定した生活ができるようになっていました。

あの時に家族を支えてくださった主は、これからも支えて下さる…とは頭でわかっている、心がついてゆきません。

今から思えばこの引越しは、主がずっと準備してこられたことでした。

私は数年前に大病を患った時、人生の有限さを感じました。もし死んで主の前に立った時、私は今まで自分が築いた「砂の上」の城の上に安住するのか、それとも主が立てた岩地の上に家を建てるのか…それを思った時、「このままで人生を終わりにたくない」と思いました。

また初代牧師の佐々木牧師と私の牧会スタイルの違いも気になっていました。佐々木牧師は群れの先頭に立ち、次々に新しい伝道の道を切り開いて進んでゆく開拓者タイプの牧者。私は群れの後方において他人を全面に出すのが好きで、弟子訓練とチーム形成に重きをおくタイプの牧者。その変化に20年の歴史を持つ教会がついてゆけるのか…。

しかし、教会が全会一致を持って招いてくださったことと、主がありのままの私を召された事実によって、招きに答える決断をしました。

470万人が住むこの地域に、日本語教会はここしかありません。先に救われた一人一人が主に満たされ、友人や家族を誘い、街で出会った人々を誘う、それが日本にいる家族の救いにもつながる…地道に弟子訓練とチーム形成をしながら、そんなクチコミ教会を各地に築いてゆきたいと思えます。



# JCPN 開拓支援会及び JCPN 日本事務局のフォローアップの働き

JCPN 開拓支援会・JCPN 日本事務局

責任者 高木康俊(蓮根バプテスト教会主任牧師)

わたしが JCPN のカンファレンスに毎年参加させていただくようになって 10 年近くが経ちました。25 年前に初めてポートランドの JIBC を訪問してマイク横井先生ご夫妻に出会いました。それからわたしたち家族は横井先生ご一家に大変お世話になり、主にある良き恵みの交わりが今日まで続いています。20 年ほど前、横井先生に Mt. Hood にドライブに連れていただいた折に、全米で日本語教会の開拓伝道をしたいというビジョンをお聞きしました。わたしも祈り協力する気持ちをお伝えしましたが、その後、わたしは親しくしていた韓国人夫妻のフィラデルフィアでの日本人伝道にかかわることになり、JCPN の最初の 6～7 年は何のお手伝いもできませんでした。ただフィラデルフィアの開拓伝道に行く折に毎年のようにポートランドをお訪ねして JCPN の素晴らしい働きについて横井先生からお伺いしておりました。そして、フィラデルフィアでの伝道活動も終わり、やっと 10 年ほど前より JCPN のカンファレンスに毎年参加するようになり、微力ながら伝道のお手伝いをさせていただいてきました。



さらに 3 年前より JCPN 開拓支援会の働きを蓮根教会でさせていただくことになり、昨年よりはアメリカの JCPN 事務局の下で JCPN 日本事務局を蓮根教会に置いて、JCPN の諸教会から日本に帰国した方々のフォローアップの働きを準備・スタートさせていただいております。

JCPN の先生方が日本に帰国した JCPN 出身者をフォローアップする際の

協力、フォローアップのための集会やセミナー等の企画をアメリカの JCPN 事務局と協力しつつ推進していきたく考えています。

二年前より蓮根教会が中心になって日本のバプテスト連盟の中に聖書信仰・聖霊信仰の群れである「日本バプテスト祈禱聖会 (Japan Baptist Prayer Convention)」を約 40 名の牧師が参加してスタートさせていますし、首都圏の超教派の働きを蓮根教会や蓮根教会出身の牧師が担っています。そのため、全国の聖書信仰・聖霊信仰の福音的な教会とのつながりもあり、JCPN 出身の帰国者へのフォローアップをしやすい環境にあります。それらのネットワークも用いながら JCPN 出身者へのフォローアップを進めていこうと考えています。しかし、帰国者の周辺の地域にキリスト教会がない地域もあり、将来的には日本に JCPN の教会を生み出す必要も出てくると思います。夢は膨らみますが、すべては日本のリバイバルのためにお献げする働きです。これからもアメリカの JCPN の教会の皆様と共に祈りを合わせつつ活動して参ります。

JCPN 開拓支援会の働きと JCPN 帰国者へのフォローアップを担ってくださっている日本事務局のスタッフは、責任者のわたし(高木)、経理担当の中地芳子(蓮根教会主事)、ニュースレター担当の高木幹生、補助事務担当の志賀威夫(蓮根教会スタッフ)です。そのほかに蓮根教会の第三礼拝を担っていますユーススタッフ(土肥映里世・矢部敬廣)とユースメンバーがフォローアップの協力をしてくださっています。また、ベトナム宣教に励んでおられる鈴木ケン牧師夫妻が日本にいる時は蓮根教会の第三礼拝の宣教に協力しつつ JCPN フォローアップの働きをお手伝いくださっています。

これからの JCPN の日本でのフォローアップの働きが進められていきますようにお祈りとご協力を何卒よろしくお願いいたします。



# お知らせ（編集後記）

JCPN 開拓支援会・日本事務局より

「彼はわたしを慕うものだから、彼を災いから逃れさせよう。  
わたしの名を知る者だから、彼を高く上げよう。  
彼がわたしを呼び求めるとき、彼に答え、苦難の襲うとき、彼と共にいて助け  
彼に名誉を与えよう。  
生涯、彼を満ち足らせ、わたしの救いを彼に見せよう。」 詩編91篇15～16節（新共同訳）

今回は突然の嵐のように新型コロナウイルスが中国をはじめ全世界に拡散し、日本においてはこの1～2週間がウイルス拡散を防げるかどうかの瀬戸際であると専門家が指摘し、政府も何とかしてウイルス拡散を抑え込もうとさまざまな対策を始めています。今、日本社会は混乱していますので、ニュースレターの発送もかなり遅れてしまいました。総主事の横井先生からもメッセージをいただきましたので、何とか編集も終わり、印刷発送に取りかかるところです。

蓮根教会におきましても、新型コロナウイルス拡散から高齢者や病床者をお守りするために、2月28日からすべての集会をお休みし、3月1日（日）の主日礼拝もすべてお休みとなりました。それでも、第一礼拝（午前10時）、第二礼拝（午前11時10分）、第三礼拝（午後3時30分）には牧師が礼拝堂で祈り、リーダーも共に祈り、ユースは賛美をささげました。礼拝ができない代わりにニュースレターや聖書メッセージを作成して、多くの方がご奉仕してくださって、教会メンバーや求道中の方の家庭に週に2～3回届けています。

わたしたちキリスト者は、まず、第一に、今、新型コロナウイルスによる感染症で苦しんでおられる方、肺炎等を発症して重篤になっておられるお一人お一人が、癒され回復されますように祈ります。そして、この新型コロナウイルスによる感染症への不安で落ち着きをなくしているお一人お一人や社会全体に主の平和が与えられますように祈ります。

そして、わたしたちクリスチャンは、イエス・キリストの十字架のあがないの癒しときよめの力をいただいていますので、JCPNのアメリカ事務局の先生方をはじめJCPN各教会におかれましては、主の平安の中に、祈りと礼拝をおささげいただきますようにお祈り致しております。

サタンは、新型コロナウイルス感染症を使って世界中を死の不安で混乱に陥れています。でも、イエス様は、十字架の癒しと赦しときよめの偉大なる御力で、サタンを踏みつけてすでに勝利しておられます。

（ヨハネ福音書16章33節）

新型コロナウイルスを恐れることなく、生涯、十字架のあがないの救いの御力でわたしたちを守ってくださる主イエス・キリストを信頼して、平安に満たされて、今日の困難な時代を、サタンの攻撃に打ち勝ち、喜びをもって生きて参ります。

今後ともアメリカのJCPN事務局主事の横井先生をはじめとする牧師先生方と共に、日本の事務局の一人一人は皆様にお仕えして参ります。今年は馬越先生ご一家がデトロイトでの開拓をスタートされます。JCPNの宣教の業がアメリカと日本のリバイバルの懸け橋となりますようにお祈りして参ります。よろしくお祈りください。感謝しつつ。

## 追記

本ニュースレターの送付先について、変更・追加のご要望や、修正が必要な点がございましたら、大変お手数ですが、下記のメールアドレスまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、ニュースレターはEメールで配信することも可能です。

ご希望の方は下記連絡先までご一報いただければ感謝でございます。

JCPN 開拓支援会 E メールアドレス [jcpn.shienkai@gmail.com](mailto:jcpn.shienkai@gmail.com)  
または JCPN 日本事務局（蓮根教会内） [hasune.b.c@gmail.com](mailto:hasune.b.c@gmail.com)

（緊急ご連絡の際は、電話 03-3967-1798 蓮根教会スタッフまでお問い合わせください）



## JCPN 会計報告

### JCPN 会計報告

献金者ご芳名 (2019年8月～2020年1月31日現在)

2019/ 8/16	吉川富子 様
2019/ 8/21	田中滋子 様
2019/ 8/22	山本和美 様
2019/ 8/26	加山彰一・礼子 様
2019/ 8/28	鞭木由行 様
2019/ 9/30	帯山聖書教会 様
2019/10/11	堀本芳隆・正美 様
2019/10/21	羽鳥頼和・路津子 様
2019/12/20	森祐理 様
2019/12/24	帯山聖書教会 様

献金総額は、124,400円でした。皆様からの主の愛に満ち溢れた尊いおささげげものに、心より感謝申し上げます。

2020年3月

JCPN 事務局 総主事 マイク横井  
スタッフ一同

## JCPN 加盟教会(2020年4月現在)

- ・日本インターナショナルバプテスト教会 (JIBC) (オレゴン州ポートランド)
- ・JIBC タコマ (ワシントン州タコマ)
- ・サンホセバプテスト教会 (カリフォルニア州サンホセ)
- ・JIBC フェニックス (アリゾナ州フェニックス)
- ・ごすべるシロアム教会 (カリフォルニア州パサデナ)
- ・リンウッド日本人ファミリー教会 (ワシントン州リンウッド)
- ・ユージーン日本語バプテスト教会 (オレゴン州ユージーン)
- ・日本語インターナショナル・ハーベスト教会 (ミズーリ州セントルイス)
- ・パールシティ第一バプテスト教会日本語部 (ハワイ州パールシティ)
- ・日本語ホープマウンテン・ファミリー教会 (コロラド州デンバー)
- ・サンディエゴ日本語南部バプテスト教会 (カリフォルニア州サンディエゴ)
- ・パロマー日本語バプテスト教会 (カリフォルニア州エスコンディッド)
- ・ロックビル第一バプテスト教会日本語部 (メリーランド州ロックビル)
- ・オーランド日本語バプテスト教会 (フロリダ州オーランド)
- ・ピッツバーグ国際日本人教会 (ペンシルベニア州ピッツバーグ)
- ・サンアントニオ日本恵みインターナショナル教会 (テキサス州サンアントニオ)
- ・やすらぎクリスチャン教会 (カリフォルニア州ガーデナー)
- ・クロスオーバー日本人教会 (カナダ・カルガリー)
- ・デトロイト開拓教会 (ミシガン州デトロイト)



## Japanese Church Planting Network

120 Japanese Churches by 2020

「2020年までに北米に120の日本語教会を！」

- 北米における日本人伝道と教会開拓のためにぜひお祈りください！
- 北米における日本人伝道と教会開拓のためにぜひお献げください！

### 郵便振替口座

口座番号 01730-9-141037

加入者名 **JCPN** 開拓伝道支援会

\*お振込みいただく際は、ご支援される教会名もしくは牧師名を、指定 献金先として通信欄にご記入ください。特にご指定がない場合、JCPN エマージェンシーファンドへの一般献金とさせていただきます。皆様の尊いお祈りと献金を心より感謝申し上げます。